

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子の「ちょっと一言」
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

季刊「生命誌」

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.05.22 ニックネーム：60才になった生きものより

いつもわくわくしながら、紙の手ざわりを楽しみながら読ませて頂いています。生きていることの、生きものとしての不思議さを何度も感じさせられています。この多様なことの豊かさを保ち続けて行きたいです。映画ぜひ見たいです。

お返事

投稿日：2015.05.22 名前：中村桂子館長

60才になったいきものさまへ、〇〇才になった生きものからお返事申し上げます。調べれば調べるほど生きものっておかしなものだと思えてくるというのが最近の気持です。だからいいのだという気持にもなっています。

その他

再び、首相の演説から

投稿日：2015.05.07 名前：岡野桂子

強い日本へ、改革あるのみ。どんな改革からも逃げず、ただ前だけを見て構造改革を進める。この道のほか、道なしと確信し、日本はいま量子的飛躍のさなか……。首相の演説。量子的飛躍という言葉から、気がついたら予想もしない事態がとってしまったのです。新聞から切り抜き再読。フィリバスターの意味がわからなくて、辞書で調べました。議事妨害演説者と。fil (仏) 糸、file 縦列、bust 破裂。首相は、フィリバスターをする意図、能力ともにありません。お話する機会を与えられ、お招きを感謝、と述べてらっしゃいます。この道しかない、ただ前を見てシュクシュクと進む一団。話をしても反応がない。生命が紡ぐ糸を破裂させないか心配です。

お返事

投稿日：2015.05.19 名前：中村桂子館長

飛躍する先はどこなのかということが問題ですね。おっしゃる通りいのちなどには眼もくれずの飛躍のような気がします。ここは地面に足をつけてゆっくりとお願いしたいと思います。

中村桂子の「ちょっと一言」

心に響く話 その2

投稿日：2015.05.04 名前：橘田 篤男

「生き物はつながりの中に」を3時間読んだ後の感想文指導の一部を書きます。書くことによって考えが深まっています。

○ 感想文を難しく考えている人がいるようだけれども、感想文というのは、

新着情報



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

そんなに難しく考えなくていい。これ（感を指し）感じることね。読んだ時に心に何か残るでしょう。読んだら何かを感じて、それを心に残す。これが、読むということです。

○ 感じたことを残すことが、すごく大事なことです。本を読むだけでなく、人と話をするというときにも、感じたものを残さなくてはならない。それが、生きているということ。

○ 次に、（想を指し）思う、考えるということがあればいい。すると、もう感想文になる。感じて心に残ったことを考える。考えるときに、6年生ぐらいになると、こういう力が出てくる。（観察 と板書）心に残ったことを観察すれば、いい感想文ができあがる。すると、残ったものが違えば、出てくる感想がみんな違う。それを、今度は観察するのだから、また、この観察の仕方が人によって違うから、同じようなことを感じていても、この観察が違うので感想文がまた違う。そこが、面白い。だから、いろんな人がいることが楽しい。そう考えてみましょう。みなさんの感想文は、そうなっている。

○ さて、山崎さんは「自分と未来のかかわり」と題して書きました。素敵な題です。そして、題にかかわっているところを、見え消しで書き直しています。前より直した方が、すごく素晴らしい。みんなで考えてみましょう。

この本を読んで子孫がいることが分かりました。

○ これでも、話が分かる。でも、山崎さんは、「分かりました」を題に合わせて直している。また、付け加えもしている。心に残ったことを観察しなおしている。

自分のその後に 気づきました

この本を読んで V 子孫がいることが分かりました。

(追加部分) (訂正か所)

こういう気づきが学級を成長させます。心に響く出前授業になりました。

お返事

投稿日：2015.05.19 名前：中村桂子館長

いつも子どもたちのことをお教えいただきありがとうございます。
先日、絵本作家の五味太郎さんとお話をする機会があり（光村図書の「飛ぶ教室」の次の号が五味さんの編集で、その号に参加するようにとのお話があった五味さんのお宅に伺いました）、子どものすばらしさを語り合いました。



中村桂子の「ちょっと一言」

大腸菌のコミュニケーション

投稿日：2015.05.02 名前：足立隼

私も分子生物学の研究は大腸菌から入りました。トリプトファンオペロンは私がついていた先生も昔、研究されていました。生物が反応し適応して行くのは興味深いですね。大腸菌でも最近ではアミノ酸その他の有機化合物をコミュニケーション手段として使っているという報告がありますし、大腸菌でもその複雑さは相当なものですから案外馬鹿には出来ませんね。もうアミノ酸要求性株をコントロールに使えない！という手前味噌な話もありますが、情報の符号化をどう行っているのかまださっぱり分からないので、視覚や聴覚に頼った我々とは違った世界が広がっているのだと思います。

お返事

投稿日：2015.05.19 名前：中村桂子館長

本当に最近の細菌研究（ちょっと韻を踏んでいます）は、新しい知見をたくさん出し、また面白くなっていますね。
細菌の気持ちになってみても楽しいかもしれません。